

大会名 Competition	第28回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-110	Year Month Day Time 2015 年 5 月 4 日 16 : 35
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA 能代工	17 1st 31 15 2nd 22 8 3rd 30 28 4th 26 OT	チームB 洛南
68 ●		109 ○

主審:Referee 小野寺 浩 秋田
副審:Umpire 平林 達哉 福島
佐藤 匠 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials 秋田

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	盛實	海翔	CAP 17	3	3	2	4	4	×	寺嶋	良	CAP 20	0	9	2	0
5	×	中村	碧杜	0	0	0	0	3	5	×	桑田	裕平	4	0	2	0	3
6	×	斉藤	大輔	19	0	7	5	5	6	×	鈴木	悠介	15	0	6	3	2
7	×	小室	望海	15	1	5	2	3	7	×	田邊	陸也	18	0	8	2	1
8	×	大高	祐哉	9	3	0	0	0	8	/	荒川	颯	10	1	3	1	4
9	/	高畑	陸	2	0	1	0	1	9	/	長谷川	寛元	4	0	2	0	0
10	/	金久保	翔	6	1	1	1	1	10	/	波多野	遼	4	0	1	2	0
11		柴田	一真	-	-	-	-	0	11	/	大庭	岳輝	5	1	1	0	2
12	/	富樫	優汰	0	0	0	0	0	12	/	福島	悠喜	2	0	1	0	0
13	/	植村	太一	0	0	0	0	0	13	×	柳川	幹也	14	2	4	0	1
14		長濱	宏治郎	-	-	-	-	0	14	/	津屋	一球	6	0	2	2	1
15		山田	柊人	-	-	-	-	0	15	/	久能	有清	2	0	1	0	0
16		熊谷	弥高	-	-	-	-	0	16	/	安信	省吾	1	0	0	1	1
17		石田	淳	-	-	-	-	0	17	/	小西	聖也	4	0	2	0	0
18		児玉	海渡	-	-	-	-	0	18	/	津田	誠人	0	0	0	0	1
コーチ		柴田	直宏					0	コーチ		吉田	裕司					0
アコチ		杉沢	政					0	アコチ		袴田	英志					0
合計				68	8	17	10	17	合計				109	4	42	13	16

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、両チームマンツーマンでスタート。先にリズムをつかんだのは洛南。#4寺嶋、#13柳川のスピードに乗った速攻から得点を重ねる。対する能代工は#7小室、#8大高の3Pで反撃するが、オフェンスのリズムは決していいとはいえず、ターンオーバーを繰り返す。その間に洛南は#4寺嶋のドライブ、#5桑田のジャンプシュート、#7田邊のポストプレイやピックアップアンドロールからの得点など、多彩な攻めで着実にリードを広げる。能代工は#10金久保の3Pや#7小室のジャンプシュートで何とか得点するが、厳しい体勢でのシュートが多く、流れに乗り切れない。17-31と洛南が主導権を握って1Q終了。

2Qに入っても洛南ペースが続く。#4寺嶋のドライブを軸に、#13柳川の3Pや#7田邊の1対1などでインサイド、アウトサイドバランス良く得点を重ねていく。ディフェンスから活路を見出したい能代工だが、ディフェンスリバウンドを確実にものにできず、相手にセカンドチャンスを与えてしまう。オフェンス面では#6斉藤のインサイドや#4盛實の3Pなど、リズムのよい攻めも見え始めるが、肝心な場面でのターンオーバーが響いて得点が伸びない。その間、洛南は#14津屋、#11大庭のドライブなどで加点し、32-53とさらにリードを広げて前半を終える。

3Q、洛南は攻撃の手を緩めない。#6鈴木がポストプレイから得点すると、その後の粘り強い1対1のディフェンスで相手のミスを誘い、#4寺嶋や#8荒川の速攻につなげてさらにリードを広げる。一方、力みの見える能代工のシュートはことごとくリングに嫌われ、反撃の糸口をつかめない。洛南は高い位置からプレッシャーをかけに行くなどディフェンスでも変化をつけながら小気味よいオフェンスにつなげていく。#4寺嶋の速攻、#7田邊のドライブ、#11大庭の3Pなどで着実に加点していく。能代工は#6斉藤がインサイドで気を吐くが流れを引き寄せすることはできず、40-83と洛南が大きくリードを奪って3Q終了。

4Q、何とか反撃をしたい能代工だが、相手マンツーマンディフェンスを崩しきれない。それでも#6斉藤のオフェンスリバウンドからの得点や#7小室のスティールからの速攻など持ち味も出始める。さらに能代工はフルコートでプレッシャーをかけに行くが、洛南#16安信がスピードに乗ったドリブルでこれをかわし、#17小西が鋭いドライブで得点につなげる。#6鈴木もオフェンスリバウンドから得点するなどインサイドで存在感を見せる。能代工は#4盛實、#8大高の3Pなどで食らいつくが、大きく離れた点差を縮めることはできず、68-109で洛南が完勝した。能代工は最後まで相手ディフェンスに苦しみ、守っては洛南の鋭いドライブに対応できなかった。攻守両面で洛南の1対1の強さが光ったゲームとなった。

文責 【 難波 直弥 】